

東日本大震災により被災されたみなさまに心よりお見舞いを申し上げます。まだ余震が続いており、どうぞ二次災害にもお気をつけください。今後たいへんなご苦勞もあるかと存じますが、一日も早い復旧を切にお祈り申します。

今回の大震災では、当会員のなかにも被災された方々がおられます。あるいはご家族やお身内の方、友人を亡くされた方がたもおられるかと存じます。さらには会員のご関係の方々のなかに原子力発電所の事故により避難を余儀なくされた方々、地震・津波による様々な影響のもとに不自由な生活を強いられている多くの人びとがおられることを思いますと言葉もございませんが、深い慰めと確かな支援が届きますよう、心からお祈りいたします。

支援活動につきましては、日本図書館協会等が展開しておられます。本会会員で被災地にお住まいの方および勤務先が被災地にある方々に個別にお問合せすることは混乱の時期にご迷惑かと考え、さし控えております。本会として新たな行動を起こすといったことは考えてはおりませんが、被災された仲間のことを心に留め、内なる支援を会員一人ひとりがお送りできればと考えております。

東日本の多数の図書館や研究室などの被害が伝えられております。震災後ほぼひと月が過ぎ、復興の兆しもみえ始めておりますが、会員各位におかれましては、今なお、被災地で耐え偲び、復旧への一歩を踏み出そうと奮闘している仲間たちに対して、どうぞ心の内なる支援をお送りくださいますよう、重ねてお願い申し上げます。

日本図書館文化史研究会 前代表・阪田 蓉子

(2011年5月30日)